



## 設置、メンテナンス、アップグレード

- [Supervisor の取り外しと交換 \(1 ページ\)](#)
- [セキュリティモジュールの取り付け、取り外し、交換 \(3 ページ\)](#)
- [SSD の取り外しと交換 \(6 ページ\)](#)
- [シングル幅ネットワークモジュールの取り付け、取り外し、交換 \(9 ページ\)](#)
- [倍幅ネットワークモジュールの取り付け、取り外し、交換 \(14 ページ\)](#)
- [電源モジュールの取り外しと交換 \(18 ページ\)](#)
- [DC 電源モジュールの接続 \(23 ページ\)](#)
- [HVDC 電源モジュールの接続 \(27 ページ\)](#)
- [ファン モジュールの取り外しと交換 \(31 ページ\)](#)
- [FIPS 不透明シールドの取り付け \(33 ページ\)](#)

## Supervisor の取り外しと交換

Firepower 9300 Supervisor を取り外す場合、システムの電源が入ったままでも、Supervisor ハードウェアまたはシステムは損傷しません。ただし、スーパーバイザは電源システムを含むシャーシ全体を制御しているため、シャーシの背面パネルにある電源ボタンを使用してシステムをスタンバイモードにすることをお勧めします。Supervisor の詳細については、[スーパーバイザ](#)を参照してください。

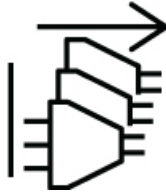
### 安全上の警告

次のコンポーネント交換に関する安全上の警告に注意してください。



**警告**    **ステートメント 1028—複数の電源**

この装置には複数の電源装置接続が存在する場合があります。感電の危険を減らすために、すべての接続を取り外してユニットの電源を切ります。



**警告**    **ステートメント 1073 - ユーザが保守可能な部品なし**

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。



**警告**    **ステートメント 1089 - 教育を受けた担当者および熟練者の定義**

教育を受けた担当者とは、熟練者から教育やトレーニングを受け、機器を操作する際に必要な予防措置を講じられる人です。

熟練者または資格保持者とは、機器の技術に関するトレーニングを受けているか経験があり、機器を操作する際に潜む危険を理解している人です。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。



**警告**    **ステートメント 1090 - 熟練者による設置**

この機器の設置、交換、または修理は、熟練者のみが実施できます。熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。



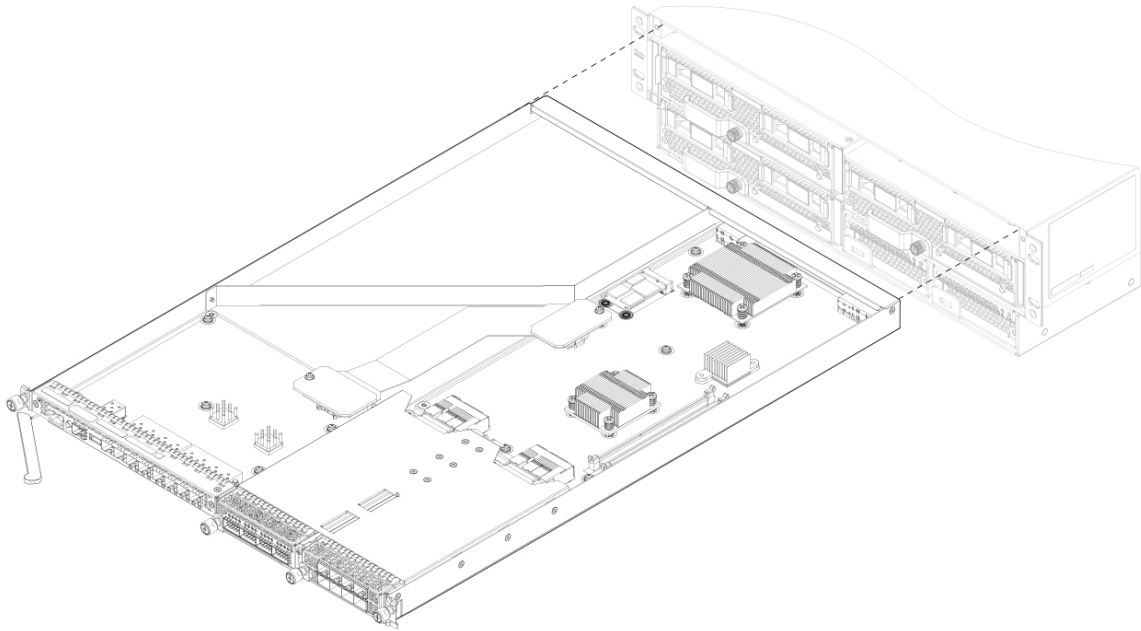
**警告**    **ステートメント 1091 - 教育を受けた担当者による設置**

この機器の設置、交換、または修理は、教育を受けた担当者または熟練者のみが実施できます。教育を受けた担当者または熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

- ステップ1** Supervisor を取り外すには、Supervisor トレイ上の 2 本の非脱落型ネジを緩めます。
- ステップ2** Supervisor の固定が解除されるまでハンドルを引き、シャーシから Supervisor トレイを取り外します。
- ステップ3** トレイをシャーシから途中まで引き出し、もう一方の手をトレイの下に添えて支えながら、シャーシから取り外します。

図 1: Supervisor の取り外しと交換



- ステップ4** 新しい Supervisor トレイを取り付けるには、トレイのハンドルを持ち、もう一方の手をトレイの下に添えて支えます。
- ステップ5** トレイの前面にあるハンドルを開けます。
- ステップ6** 開口部にトレイを差し込んでゆっくりと奥まで押し込みます。
- ステップ7** ハンドルを押してシャーシの端に固定し、トレイを完全に押し込みます。
- ステップ8** トレイがシャーシ内に完全に入ったら、ハンドルを押し込んでトレイを完全に固定します。
- ステップ9** 指を使って、Supervisor の前面にある非脱落型ネジを締めます。ドライバを使用する場合は 0.339 N-m (3 インチポンド) 以下のトルクで締めてください。  
指で締めることにより、非脱落型ネジが外れたり破損したりすることが少なくなります。

## セキュリティモジュールの取り付け、取り外し、交換

この手順では、セキュリティモジュールを搭載したことのない空のスロットにセキュリティモジュールを取り付ける方法と、取り付けられているセキュリティモジュールを取り外して別のセキュリティモジュールと交換する方法について説明します。

Firepower 9300 セキュリティモジュールの取り外しはシステムの稼働中に行うことができますが、シャーシ背面にある電源スイッチを使用し、セキュリティモジュールをスタンバイモードにしてから取り外しと再取り付けを行うことお勧めします。空のスロットに新しいサービスモジュールを取り付ける場合、システムの電源をオフにする必要はありません。



(注) セキュリティモジュールをサポートするために、正しいファームウェアパッケージとソフトウェアバージョンがインストールされていることを確認してください。ファームウェアパッケージのバージョンを確認する方法、および必要に応じてファームウェアをアップグレードする方法については、『[Cisco Firepower 4100/9300 FXOS Firmware Upgrade Guide](#)』[英語]を参照してください。ソフトウェア互換性マトリックスについては、『[Cisco Firepower 4100/9300 FXOS Compatibility](#)』[英語]を参照してください。



**注意** 既存のセキュリティモジュールを別のセキュリティモジュールに交換する場合は、古いセキュリティモジュールを取り外す前に、そのモジュールをデコミッションする必要があります。手順については、『[Cisco FXOS Firepower Chassis Manager Configuration Guide](#)』の「セキュリティモジュール/エンジン管理」の章を参照してください。古いセキュリティモジュールをデコミッションしたら、そのモジュールを取り外し、新しいセキュリティモジュールを取り付けて、そのモジュールをシステムに認識させてから、そのモジュールを再初期化することができます。

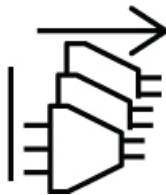
#### 安全上の警告

次のコンポーネント交換に関する安全上の警告に注意してください。



**警告** ステートメント 1028—複数の電源

この装置には複数の電源装置接続が存在する場合があります。感電の危険を減らすために、すべての接続を取り外してユニットの電源を切ります。



**警告** ステートメント 1073 - ユーザが保守可能な部品なし

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。



**警告**

**ステートメント 1089 - 教育を受けた担当者および熟練者の定義**

教育を受けた担当者とは、熟練者から教育やトレーニングを受け、機器を操作する際に必要な予防措置を講じられる人です。

熟練者または資格保持者とは、機器の技術に関するトレーニングを受けているか経験があり、機器を操作する際に潜む危険を理解している人です。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。



**警告**

**ステートメント 1090 - 熟練者による設置**

この機器の設置、交換、または修理は、熟練者のみが実施できます。熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。



**警告**

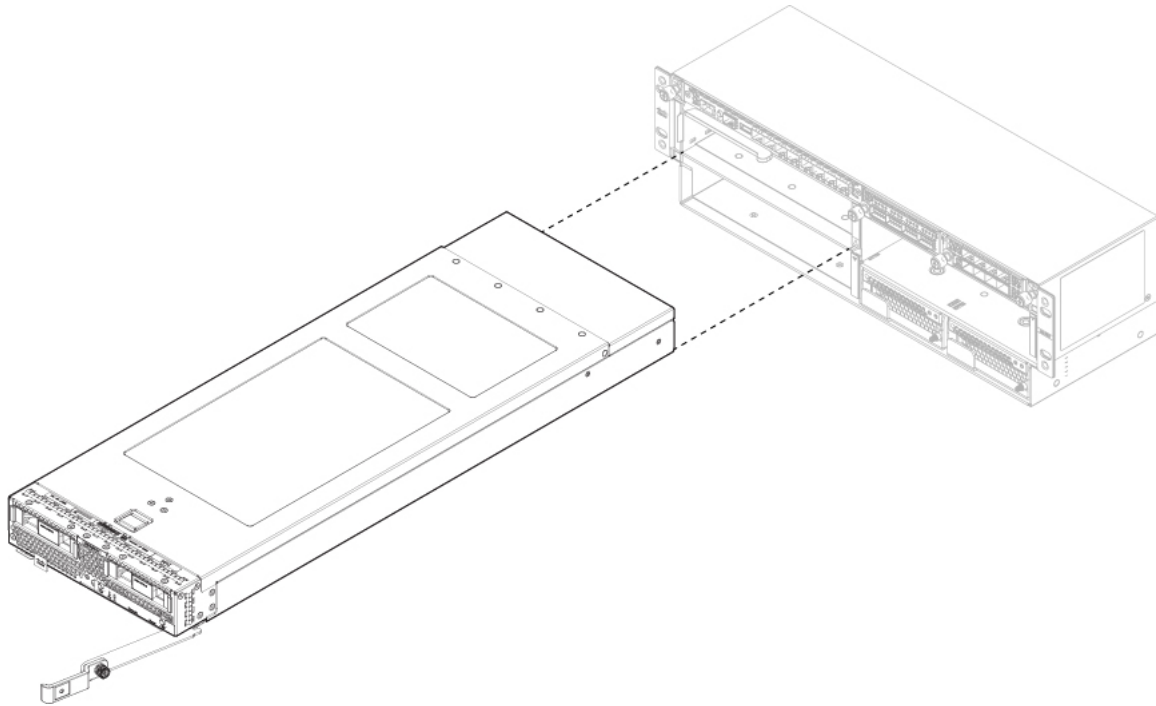
**ステートメント 1091 - 教育を受けた担当者による設置**

この機器の設置、交換、または修理は、教育を受けた担当者または熟練者のみが実施できます。教育を受けた担当者または熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

- 
- ステップ 1** 新しいセキュリティモジュールを空のスロットに初めて取り付ける場合は、次の手順を実行します。
- a) ステップ 6 から 10 に従います。
  - b) **scope slot > acknowledge** と入力して、新しいセキュリティモジュールをオンラインにします。
- ステップ 2** セキュリティモジュールを取り外すには、セキュリティモジュールの前面にある非脱落型ネジを緩めます。
- ステップ 3** セキュリティモジュールの固定が解除されるまでハンドルを引き、シャーシからセキュリティモジュールを取り外します。
- ステップ 4** セキュリティモジュールをシャーシから途中まで引き出し、もう一方の手をモジュールの下に添えて支えながら、シャーシから取り外します。

図 2: セキュリティモジュールの取り外しと取り付け



- ステップ 5** 取り外したセキュリティ モジュールをただちに別のスロットに取り付けない場合は、静電気防止用マットまたは静電気防止用フォームの上にそのモジュールを置きます。スロットを空のままにしておく場合は、適切なエアフローを確保し、シャーシ内へのほこりの浸入を防ぐために、ブランク前面プレートを取り付けます。ブランクプレートを取り付けない場合は、別のセキュリティモジュールを取り付けてください。
- ステップ 6** 新しいセキュリティモジュールを取り付けるには、セキュリティモジュールのハンドルを持ち、もう一方の手をモジュールの下に添えて支えます。
- ステップ 7** セキュリティ モジュールの前面にあるハンドルを開けます。
- ステップ 8** 開口部にモジュールを差し込み、ゆっくりとスライドさせながら奥まで押し込みます。
- ステップ 9** ハンドルを押してシャーシの端に固定し、セキュリティ モジュールを完全に押し込みます。
- ステップ 10** 指を使って、セキュリティ モジュールの前面にある非脱落型ネジを締めます。ドライバを使用する場合は 0.339 N-m (3 インチポンド) 以下のトルクで締めてください。指で締めることにより、非脱落型ネジが外れたり破損したりすることが少なくなります。

## SSD の取り外しと交換

各セキュリティ モジュールには、2 つの SSD があります。この SSD は RAID 1 構成で設定できます。1 つまたは両方の SSD が故障した場合は、セキュリティ モジュールを使用停止し、SSD のインストールの開始とインベントリの更新に使用するスロットを確認する必要があります。手順については、『[Cisco FXOS Firepower Chassis Manager Configuration Guide](#)』の「セキュ

「リテ モジュール/エンジン管理」の章を参照してください。セキュリティ モジュールを使用停止したら、SSD を取り外し、新しい SSD をインストールして、セキュリティ モジュール オンラインに戻すためのスロットを確認します。



- (注) SSD を交換したら、ストレージコントローラで新しくインストールした SSD を再構築します。データの損失はありません。両方の SSD が故障した場合は、データを回復できません。



- (注) RAID 1 の 2 台の SSD には、それぞれ他のデータが格納されています。別のサービスモジュールで使用する RAID ペアを解除すると、サービスモジュールは、スーパーバイザによる検出に失敗します。

### 安全上の警告

次の警告を記録しておいてください。



#### 警告 ステートメント 1028—複数の電源

この装置には複数の電源装置接続が存在する場合があります。感電の危険を減らすために、すべての接続を取り外してユニットの電源を切ります。



#### 警告 ステートメント 1073 - ユーザが保守可能な部品なし

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。



#### 警告 ステートメント 1089 - 教育を受けた担当者および熟練者の定義

教育を受けた担当者とは、熟練者から教育やトレーニングを受け、機器を操作する際に必要な予防措置を講じられる人です。

熟練者または資格保持者とは、機器の技術に関するトレーニングを受けているか経験があり、機器を操作する際に潜む危険を理解している人です。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。



**警告** ステートメント 1090 - 熟練者による設置

この機器の設置、交換、または修理は、熟練者のみが実施できます。熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。



**警告** ステートメント 1091 - 教育を受けた担当者による設置

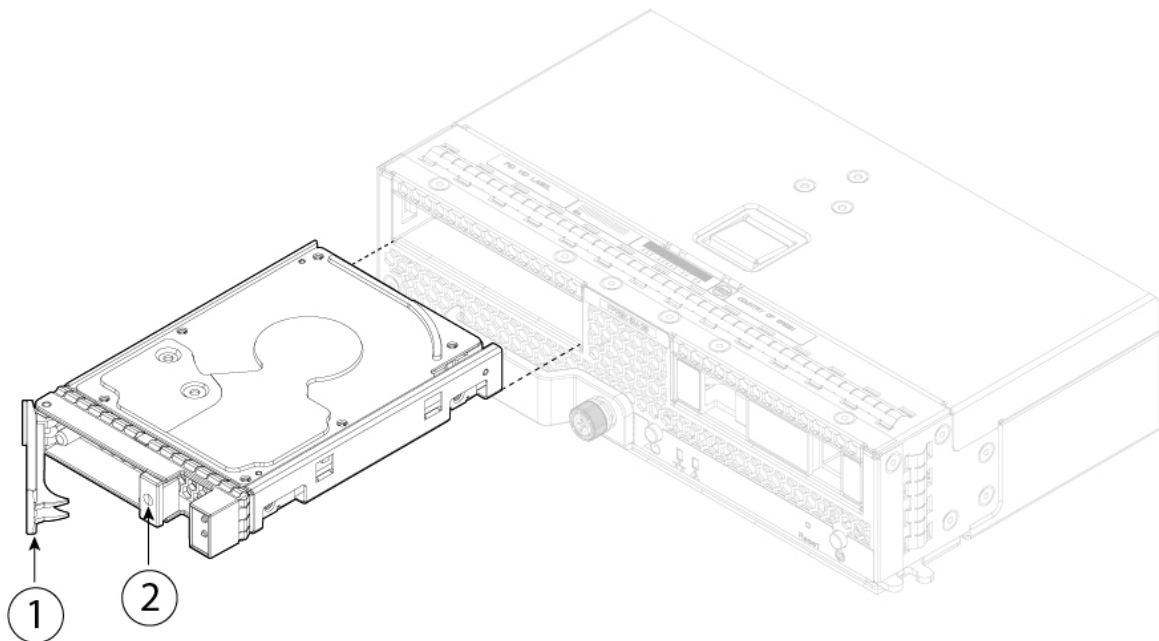
この機器の設置、交換、または修理は、教育を受けた担当者または熟練者のみが実施できます。教育を受けた担当者または熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

**ステップ 1** セキュリティ モジュールを使用停止します。

**ステップ 2** SSD を取り外すには、シャーシの前面側で、SSD のハンドルリリースを押し、スロットから無理な力を加えずに引き出します。

図 3: SSD の取り外し



|   |      |   |           |
|---|------|---|-----------|
| 1 | ハンドル | 2 | ハンドル リリース |
|---|------|---|-----------|

**ステップ 3** SSD を交換するには、スロット 1 の前面で SSD を保持し、固定されるまで優しく押し込み、ハンドルを閉じます。



**ステップ 4** SSD の両側にある非脱落型ネジを締めます。

**ステップ 5** SSD のインストールを開始するためのスロットを確認します。

## シングル幅ネットワークモジュールの取り付け、取り外し、交換

この手順では、ネットワークモジュールを搭載したことの空のスロットにネットワークモジュールを取り付ける方法と、取り付けられているネットワークモジュールを取り外して別のネットワークモジュールと交換する方法について説明します。

### ホットスワップ

Firepower 10 Gb および 40 Gb の非ハードウェアバイパス ネットワークモジュールでホットスワップをサポートする適切なソフトウェアがあることを確認します。ソフトウェア互換性マトリックスについては、『[Cisco Firepower 4100/9300 FXOS Compatibility](#)』[英語]を参照してください。同一のネットワークモジュール（つまり、同じPIDのネットワークモジュール）を使用してホットスワップする必要があります。ネットワークモジュールPIDのリストについては、[製品ID番号](#)を参照してください。ネットワークモジュールをシャーシから取り外す前に、適切な CLI コマンドを使用してネットワークモジュールをオフラインにする必要があります。そうすることにより、すべてのネットワークモジュールの設定が保存されます。



**注意** 適切な CLI コマンドを使用して正しくオフラインにせずネットワークモジュールを取り外すことはお勧めしません。



**(注)** ホットスワップをサポートするために、スーパーバイザに正しいROMMONがあることを確認します。ファームウェアパッケージのバージョンを確認する方法、および必要に応じてファームウェアをアップグレードする方法については、『[Cisco Firepower 4100/9300 FXOS Firmware Upgrade Guide](#)』[英語]を参照してください。

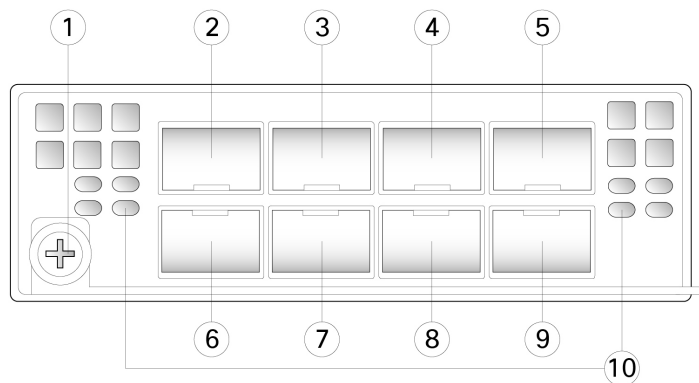
ホットスワップが現在サポートされていないネットワークモジュールを取り外して交換するには、シャーシの電源を切ってネットワークモジュールを交換し、その後シャーシの電源を入れ直してください。



(注) 100 Gb ネットワークモジュール (FPR-NM-4X100G および FPR-NM-2X100G) をサポートするには、スーパーバイザに適切な ROMMON があることを確認します。ファームウェアパッケージのバージョンを確認する方法、および必要に応じてファームウェアをアップグレードする方法については、『[Cisco Firepower 4100/9300 FXOS Firmware Upgrade Guide](#)』[英語] を参照してください。

次の図は、10 Gb 非ハードウェアバイパス ネットワークモジュールの前面パネルを示しています。非脱落型ネジ、ポート、および LED の場所を示しています。他のシングル幅ネットワーク モジュールに関する詳細については、[ネットワーク モジュール](#) を参照してください。

図 4: Firepower ネットワークモジュール 10 Gb



|   |             |    |   |
|---|-------------|----|---|
| 1 | 非脱落型ネジ/ハンドル | 2  | イーサネット X/1  |
| 3 | イーサネット X/3  | 4  | イーサネット X/5  |
| 5 | イーサネット X/7  | 6  | イーサネット X/2  |
| 7 | イーサネット X/4  | 8  | イーサネット X/6  |
| 9 | イーサネット X/8  | 10 | ネットワーク アクティビティ LED <ul style="list-style-type: none"> <li>• オフ：接続なし、またはポート未使用。</li> <li>• オレンジ：リンクなし、またはネットワーク障害。</li> <li>• 緑：リンク アップ。</li> <li>• 緑（点滅）：ネットワーク アクティビティ。</li> </ul> |

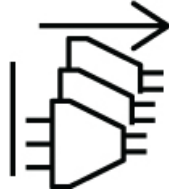
## 安全上の警告

次のコンポーネント交換に関する安全上の警告に注意してください。



### 警告 ステートメント 1028—複数の電源

この装置には複数の電源装置接続が存在する場合があります。感電の危険を減らすために、すべての接続を取り外してユニットの電源を切ります。



### 警告 ステートメント 1073 - ユーザが保守可能な部品なし

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。



### 警告 ステートメント 1089 - 教育を受けた担当者および熟練者の定義

教育を受けた担当者とは、熟練者から教育やトレーニングを受け、機器を操作する際に必要な予防措置を講じられる人です。

熟練者または資格保持者とは、機器の技術に関するトレーニングを受けているか経験があり、機器を操作する際に潜む危険を理解している人です。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。



### 警告 ステートメント 1090 - 熟練者による設置

この機器の設置、交換、または修理は、熟練者のみが実施できます。熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。



### 警告 ステートメント 1091 - 教育を受けた担当者による設置

この機器の設置、交換、または修理は、教育を受けた担当者または熟練者のみが実施できます。教育を受けた担当者または熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

**ステップ 1** 新しいネットワークモジュールを空のスロットに初めて取り付ける場合は、次の手順を実行します。

- a) 電源スイッチをオフの位置に動かしてシャーシの電源を切ります。
- b) ステップ 5 ～ 7 を実行して、新しいネットワークモジュールを取り付けます。
- c) 電源スイッチをオンの位置に動かしてシャーシの電源を入れます。

新しいネットワークモジュールの状態は OIR Failed です。

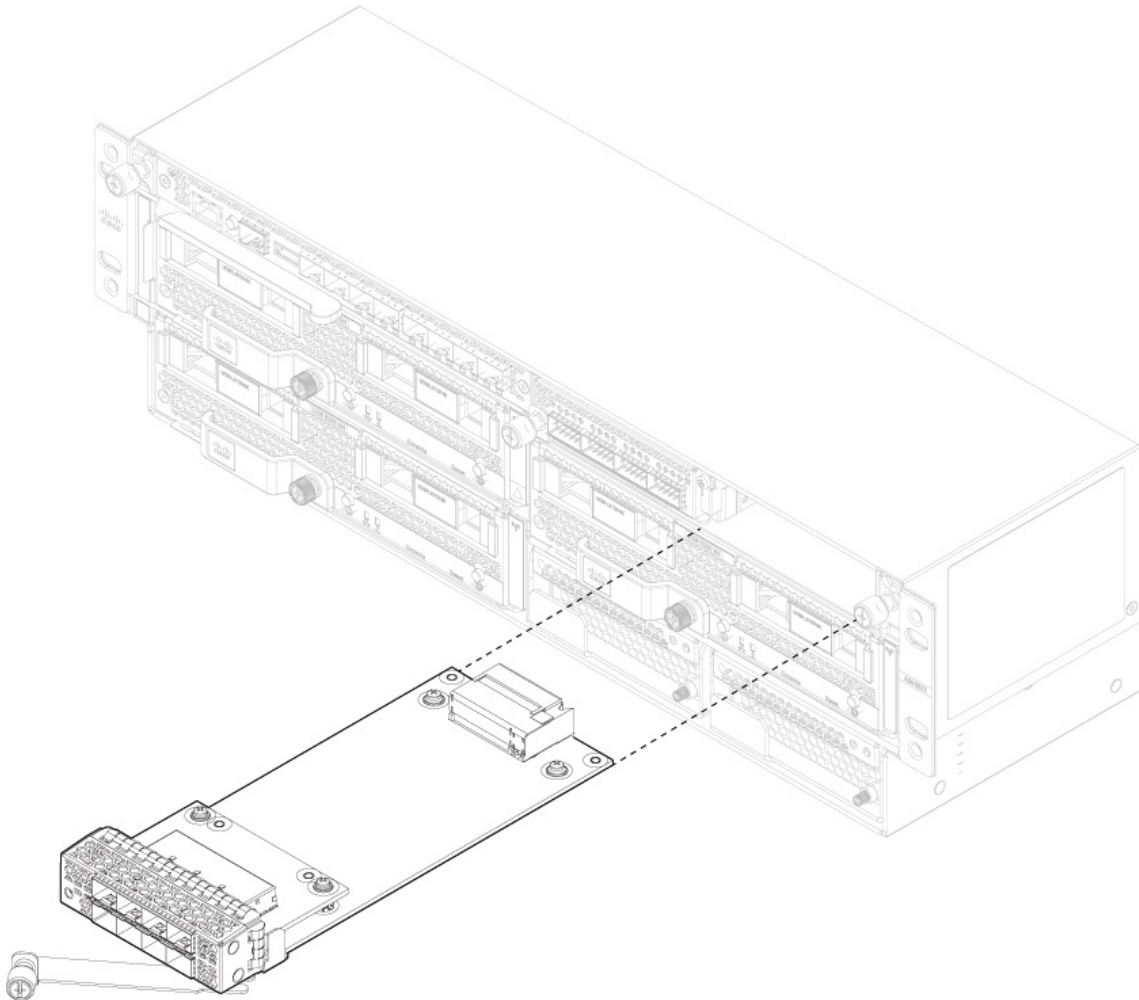
- d) ネットワークモジュールのステータスを Online に変更するには、シャーシを再起動します。ご使用のソフトウェアバージョンの『[FXOS Configuration Guide](#)』[英語]で「System Administration」の章にある「Rebooting the Firepower 4100/9300 Chassis」のトピックを参照してください。

**ステップ 2** 既存のネットワークモジュールを取り外して交換するには、次のいずれかを実行します。

- a) 設定を保存します。
- b) 電源スイッチをオフの位置に動かしてシャーシの電源を切ります（取り外すネットワークモジュールでホットスワップがサポートされていない場合）。
- c) 適切な CLI コマンドを使用してネットワークモジュールをオフラインにします（取り外すネットワークモジュールでホットスワップがサポートされている場合）。すべてのネットワークモジュールの設定が保存されます。『[FXOS Configuration Guide](#)』[英語]の「Taking a Network Module Offline or Online」の章にある「Taking a Network Module Offline or Online」のトピックを参照してください。
- d) ステップ 3 に進みます。

**ステップ 3** ネットワークモジュールを取り外すには、ネットワークモジュールの左側にある非脱落型ネジをゆるめ、ハンドルを完全に回転するまでゆるめてから、無理な力を加えずにネットワークモジュールをシャーシから引き出します。

図 5: シングル幅ネットワーク モジュールの取り外しと交換



スロットを空のままにしておく場合は、適切なエアフローを確保し、シャーシ内へのほこりの浸入を防ぐために、ブランク前面プレートを取り付けます。ブランク プレートを取り付けない場合は、別のネットワーク モジュールを取り付けてください。

**ステップ 4** (オプション) シングル幅ネットワークモジュールを倍幅スロットに取り付ける場合は、ディバイダを取り付ける必要があります。ブランク前面プレートは単一スロット用であるため、2つの単一ネットワークスロットに対応する場合はディバイダを取り付けます。

(注) 元の 9300 シャーシと新しい 9300 シャーシではディバイダが異なります。古いシャーシ用のディバイダ (製品番号 800-101936-01) を紛失した場合、または新しいシャーシ用の新しいディバイダ (製品番号 700-112465-01) が必要な場合には、ねじと両方のディバイダが含まれている FPR9K-NM-DIV= を注文してください。

**ステップ 5** 新しいネットワーク モジュールをインストールするには、ハンドルを完全に伸ばした状態で、シャーシの右側のネットワーク モジュールスロットの前でネットワーク モジュールを保持します。ハンドルがシャーシ内の係合機構にはまるまで、モジュールをネットワーク モジュールスロットにゆっくり押し込みます。ハンドルが正しくかみ合う必要があります。

**ステップ 6** ネットワーク モジュールの前面プレートに完全に固定され、モジュールがシャーシに完全に固定されるまで、無理な力を加えずハンドルを押します。

**ステップ 7** ネットワーク モジュールの左側にある非脱落型ネジを締めます。

**ステップ 8** 次のいずれかを実行します。

- a) シャーシの電源を入れると、新しいネットワーク モジュールが認識されます（新しいネットワーク モジュールでホット スワップがサポートされていない場合）。
- b) 適切な CLI コマンドを使用して、新しいネットワーク モジュールをオンラインにします（新しいネットワーク モジュールでホット スワップがサポートされている場合）。ネットワーク モジュールがオンラインに戻ると、保存されたネットワーク モジュールの設定が自動的に再適用されます。

(注) 元のネットワーク モジュールとは異なる PID のネットワーク モジュールを取り付けると、保存された設定は削除され、デフォルト設定が適用されます。 **acknowledge** コマンドを入力して、ネットワーク モジュール PID の変更を確認する必要があります。

『[FXOS Configuration Guide](#)』 [英語] の手順に従って、ネットワーク モジュールに接続し、モジュールが Firepower 9300 によって正しく検出されたことを確認します。

## 倍幅ネットワークモジュールの取り付け、取り外し、交換

この手順では、ネットワークモジュールを搭載したことのない空のスロットにネットワークモジュールを取り付ける方法と、取り付けられているネットワークモジュールを取り外して別のネットワークモジュールと交換する方法について説明します。



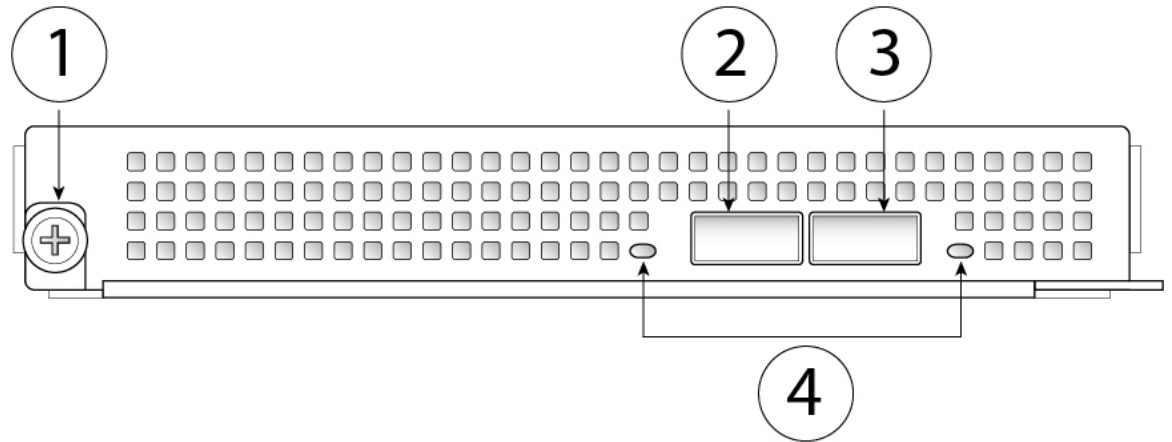
(注) Firepower 100 Gb ネットワークモジュールを取り付ける前に、Firepower 9300 に正しいファームウェアパッケージがインストールされていることを確認します。ファームウェアパッケージのバージョンを確認する方法、および必要に応じてファームウェアをアップグレードする方法については、『[Cisco Firepower 4100/9300 FXOS Firmware Upgrade Guide](#)』 [英語] を参照してください。

Firepower 100 Gb ネットワークモジュールは、2 つの光ファイバ 100 ギガビットイーサネットインターフェイスを提供する、オプションの取り外し可能な I/O モジュールです。Firepower 9300 の 2 つのスロットを使用し、シングルモードおよびマルチモードをサポートします。

ソフトウェアがホットスワップをサポートしていることを確認します。ソフトウェア互換性マトリックスについては、『[Cisco Firepower 4100/9300 FXOS Compatibility](#)』 [英語] を参照してください。ネットワーク モジュールを取り外して交換したら、Firepower 9300 が新しいネットワーク モジュールを検出するようにシステムをリブートする必要があります。Firepower 9300 ネットワーク モジュールの詳細については、[ネットワーク モジュール](#) を参照してください。

次の図は、Firepower 9300 100 Gb ネットワークモジュールの前面パネルビューを示しています。

図 6: 100 Gb ネットワークモジュール



|   |  |   |   |
|---|--|---|---|
| 1 | ハンドル上の非脱落型ネジ                                 | 2 | 100 ギガビットイーサネット QSFP28 ファイバポート<br>イーサネット X/1  |
| 3 | 100 ギガビットイーサネット QSFP28 ファイバポート<br>イーサネット X/2 | 4 | ネットワーク アクティビティ LED<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・オフ：接続なし、またはポート未使用。</li> <li>・オレンジ：リンクなし、またはネットワーク障害。</li> <li>・緑（点滅）：ネットワーク アクティビティ。</li> </ul> |

#### 安全上の警告

次のコンポーネント交換に関する安全上の警告に注意してください。



#### 警告 ステートメント 1028—複数の電源

この装置には複数の電源装置接続が存在する場合があります。感電の危険を減らすために、すべての接続を取り外してユニットの電源を切ります。





**警告** ステートメント 1073 - ユーザが保守可能な部品なし

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。



**警告** ステートメント 1089 - 教育を受けた担当者および熟練者の定義

教育を受けた担当者とは、熟練者から教育やトレーニングを受け、機器を操作する際に必要な予防措置を講じられる人です。

熟練者または資格保持者とは、機器の技術に関するトレーニングを受けているか経験があり、機器を操作する際に潜む危険を理解している人です。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。



**警告** ステートメント 1090 - 熟練者による設置

この機器の設置、交換、または修理は、熟練者のみが実施できます。熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。



**警告** ステートメント 1091 - 教育を受けた担当者による設置

この機器の設置、交換、または修理は、教育を受けた担当者または熟練者のみが実施できます。教育を受けた担当者または熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

**ステップ 1** 新しいネットワークモジュールを空のスロットに初めて取り付けの場合は、次の手順を実行します。

- a) 電源スイッチをオフの位置に動かしてシャーシの電源を切ります。
- b) ステップ 4 ~ 6 を実行して、新しいネットワークモジュールを取り付けます。
- c) 電源スイッチをオンの位置に動かしてシャーシの電源を入れます。

新しいネットワークモジュールの状態は OIR Failed です。

- d) ネットワークモジュールのステータスを Online に変更するには、シャーシを再起動します。ご使用のソフトウェアバージョンの『[FXOS Configuration Guide](#)』[英語]で「System Administration」の章にある「Rebooting the Firepower 4100/9300 Chassis」のトピックを参照してください。

**ステップ 2** 既存のネットワークモジュールを取り外して交換するには、次のいずれかを実行します。

- a) 設定を保存します。



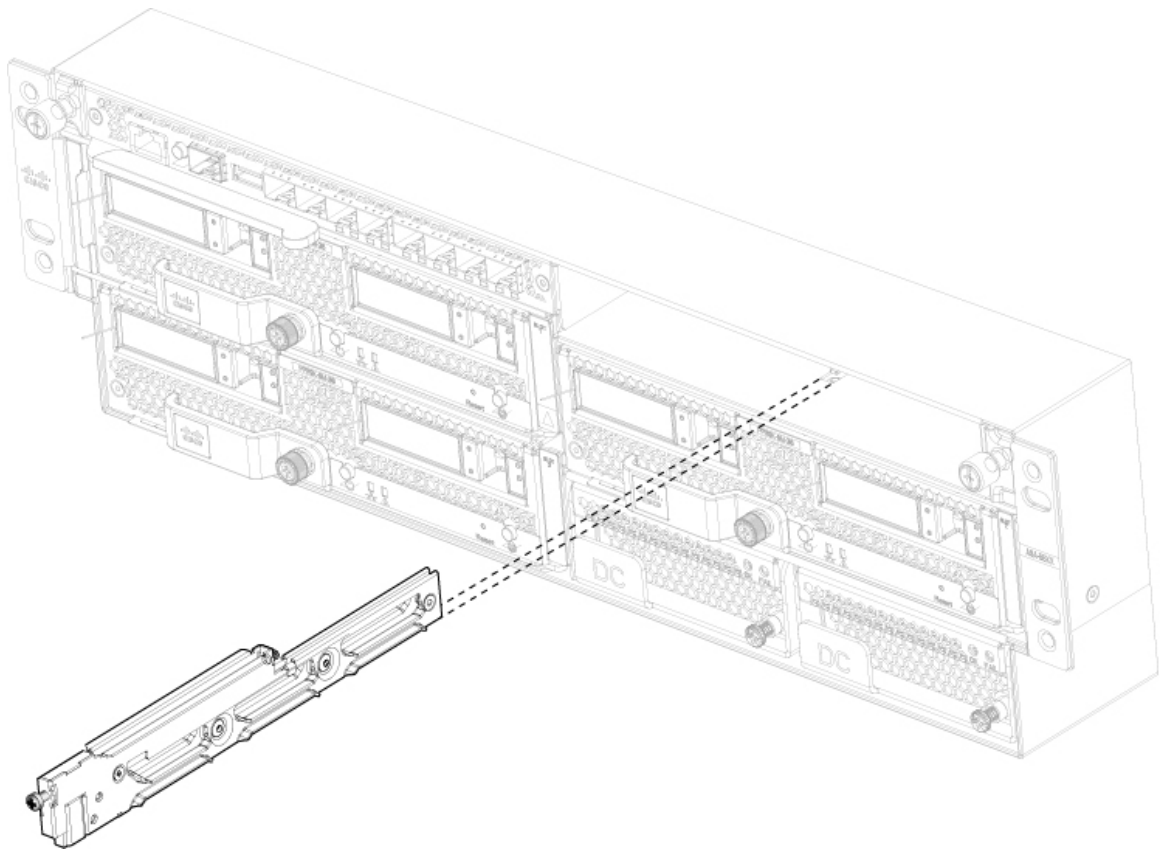
- b) 電源スイッチをオフの位置に動かしてシャーシの電源を切ります。
- c) ステップ 3 に進みます。

**ステップ 3** 次のいずれかを実行します。

- a) 2つのネットワーク モジュール スロットに取り付けられているシングル幅ネットワーク モジュールを削除する場合は、ネットワークモジュールの左側にある非脱落型ネジをゆるめ、ハンドルをゆるめて、無理な力を加えないようにしてシャーシからネットワーク モジュールを引き出します。2つのネットワーク モジュールの間にあるディバイダの上部の非脱落型ネジをゆるめて取り外し、ディバイダを取り外します。

(注) 100 Gb 倍幅ネットワークモジュールから1つまたは2つのシングル幅ネットワークモジュールに交換する場合は、ディバイダを取り付けたままにします。または、従来の 9300 シャーシ用と新しい 9300 シャーシ用の2つのディバイダを含むディバイダ キット (FPR9K-NM-DIV=) を注文することもできます。

図 7: ネットワーク モジュール ディバイダの取り外し

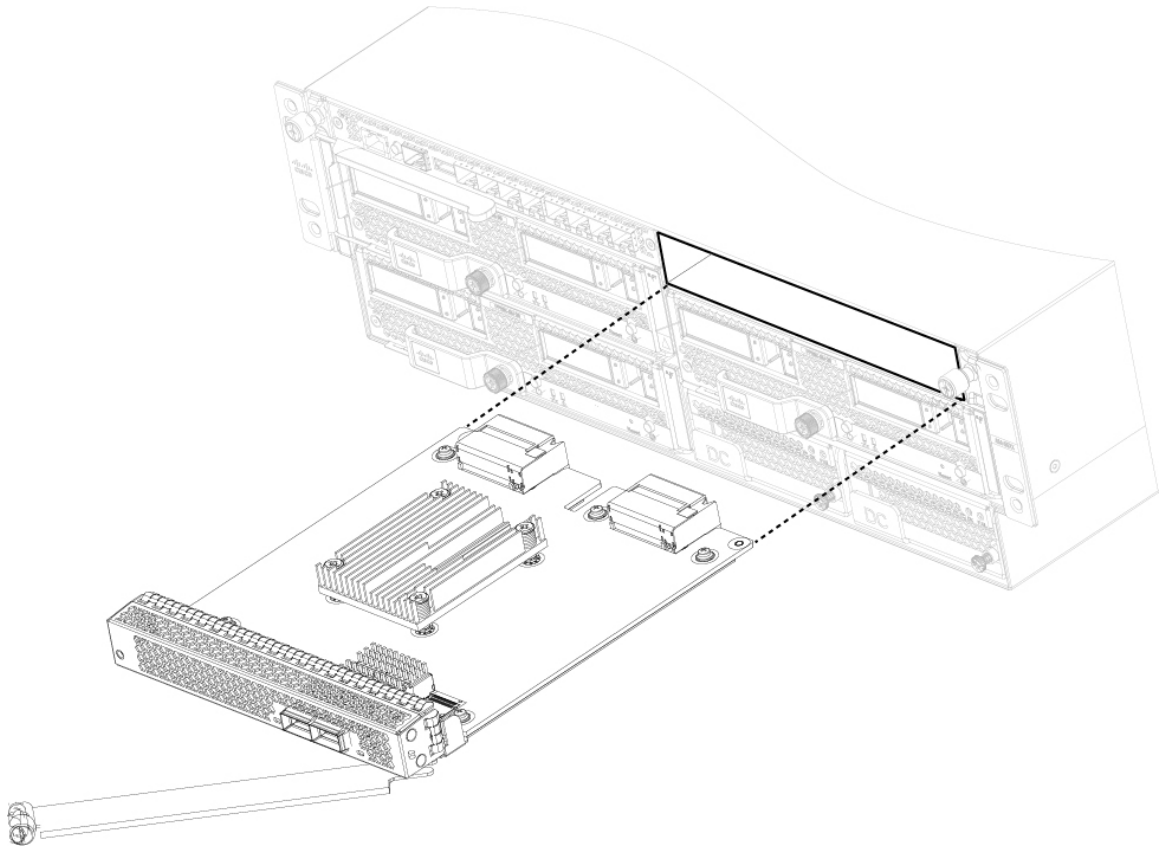


- b) 100 Gb ネットワークモジュールを取り外す場合は、モジュールの左側にある非脱落型ネジをゆるめ、ハンドルをリリースし、そっと引き出します。

スロットを空のままにしておく場合は、適切なエアフローを確保し、シャーシ内へのほこりの浸入を防ぐために、ブランク前面プレートを取り付けます。ブランクプレートを取り付けない場合は、別のネットワークモジュールを取り付けてください。ブランク前面プレートは単一スロット用であるため、2つの単一ネットワークスロットに対応する場合はディバイダを取り付けます。

**ステップ4** ハンドルが完全に回転した状態で、シャーシの右側のダブル ネットワークモジュール スロットの前で 100 Gb ネットワークモジュールを保持します。ハンドルがシャーシ内の係合機構にはまるまで、モジュールを ネットワーク モジュールスロットにゆっくり押し込みます。ハンドルが正しくかみ合う必要があります。

図 8: 100 Gb ネットワークモジュールの取り付け



**ステップ5** ネットワーク モジュールの前面プレートに完全に固定され、モジュールがシャーシに完全に固定されるまで、無理な力を加えずハンドルを押します。

**ステップ6** ネットワーク モジュールの左側にある非脱落型ネジを締めます。

**ステップ7** 新しいネットワーク モジュールが認識されるように、シャーシの電源をオンにします。

『[FXOS Configuration Guide](#)』[英語] の手順に従って、ネットワーク モジュールに接続し、モジュールが Firepower 9300 によって正しく検出されたことを確認します。

## 電源モジュールの取り外しと交換

システムの稼働中に、電源モジュールを取り外して交換することができます。ホットスワップ中、少なくとも 1 つの電源モジュールがアクティブであることを確認してください。



(注) 電源モジュールはただちに交換してください。電源がない状態にしておくことはできません。

#### 安全上の警告

次の電源およびコンポーネントの取り外しに関する安全上の警告に注意してください。



#### 警告 ステートメント 1003 - DC 電源の切断

感電や怪我のリスクを軽減するために、コンポーネントの取り外しや交換、またはアップグレードを実行する前に、DC 電源を切断してください。



#### 警告 ステートメント 1005—回路ブレーカー

この製品は、設置する建物にショート（過電流）保護機構が備わっていることを前提に設計されています。感電または火災のリスクを軽減するため、保護対象の装置は次の定格を超えないようにします。

AC : 20A

DC : 40A



#### 警告 ステートメント 1017 : 立ち入り制限区域

この装置は、出入りが制限された場所に設置されることを想定しています。熟練者、教育を受けた担当者、または資格保持者のみが立ち入り制限区域に入ることができます。



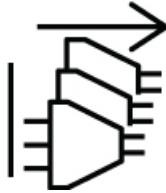
#### 警告 ステートメント 1022 - デバイスの切断

感電または火災のリスクを軽減するため、容易にアクセス可能な切断装置を固定配線に組み込む必要があります。



**警告** ステートメント 1028—複数の電源

この装置には複数の電源装置接続が存在する場合があります。感電の危険を減らすために、すべての接続を取り外してユニットの電源を切ります。



**警告** ステートメント 1029 : ブランクの前面プレートおよびカバー パネル

ブランクの前面プレートおよびカバーパネルには、3つの重要な機能があります。感電および火災のリスクを軽減すること、他の装置への電磁波干渉（EMI）の影響を防ぐこと、およびシャーシ内の冷気の流れを適切な状態に保つことです。システムは、必ずすべてのカード、前面プレート、前面カバー、および背面カバーを正しく取り付けられた状態で運用してください。



**警告** ステートメント 1073 - ユーザが保守可能な部品なし

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。



**警告** ステートメント 1046 - 装置の設置または交換

感電のリスクを軽減するため、装置を設置または交換するときには、必ずアースを最初に接続し、最後に取り外します。

装置にモジュールがある場合は、提供されたネジで固定してください



**警告** ステートメント 1089 - 教育を受けた担当者および熟練者の定義

教育を受けた担当者とは、熟練者から教育やトレーニングを受け、機器を操作する際に必要な予防措置を講じられる人です。

熟練者または資格保持者とは、機器の技術に関するトレーニングを受けているか経験があり、機器を操作する際に潜む危険を理解している人です。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。



**警告**

**ステートメント 1090 - 熟練者による設置**

この機器の設置、交換、または修理は、熟練者のみが実施できます。熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。



**警告**

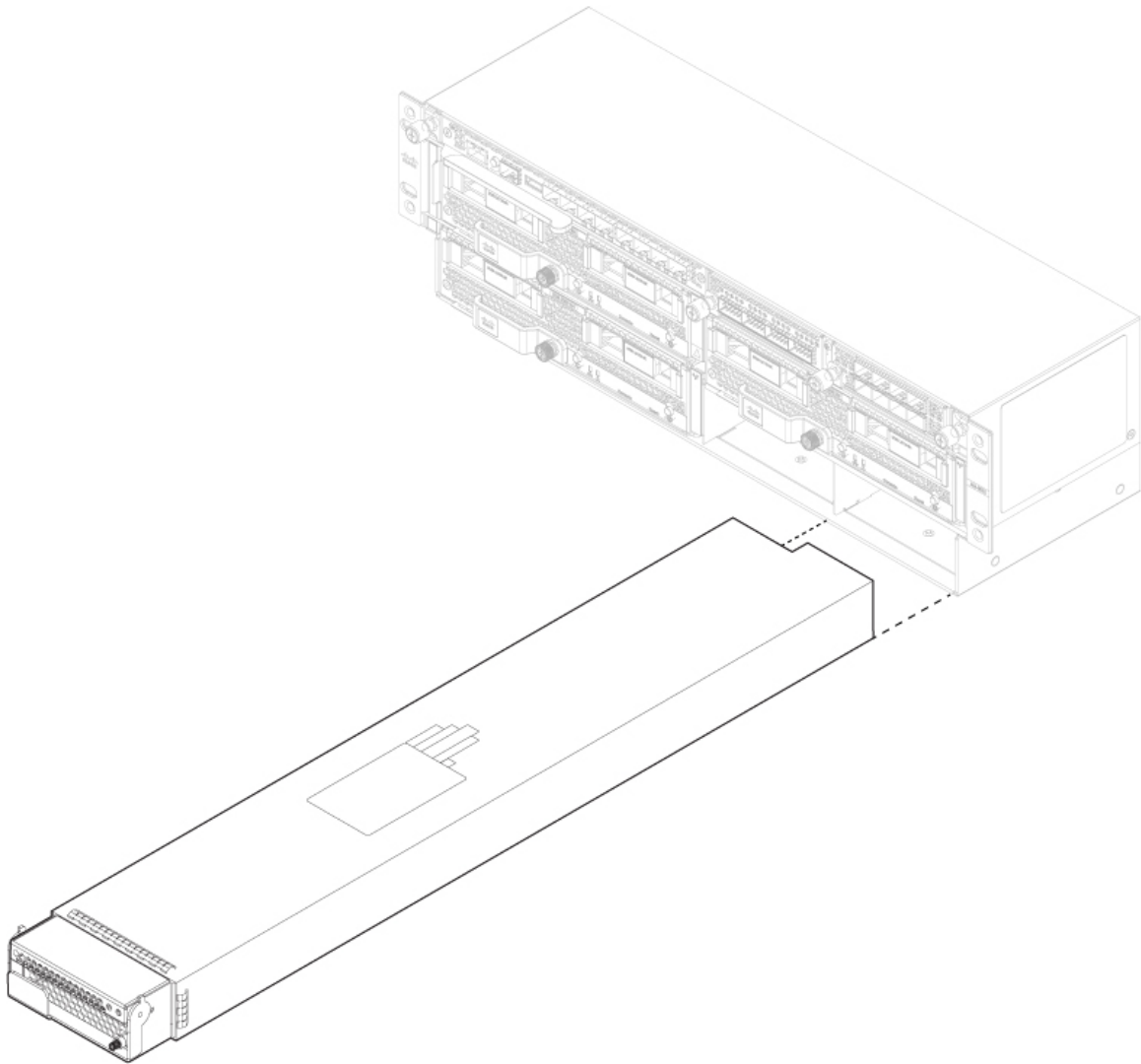
**ステートメント 1091 - 教育を受けた担当者による設置**

この機器の設置、交換、または修理は、教育を受けた担当者または熟練者のみが実施できます。教育を受けた担当者または熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

- ステップ 1** 電源モジュールを取り外すには、シャーシの前面に向かって、電源モジュールの右側にある非脱落型ネジを緩めます。
- ステップ 2** 電源モジュールのハンドルを持ち上げて固定解除します。
- ステップ 3** ハンドルを使用して電源モジュールをスロットから引き出します。シャーシから引き出すときは、もう一方の手を電源モジュールの底面に添えて支えてください。新しい電源モジュールをただちに取り付けます。

図 9: 電源モジュールの取り外しと交換



- ステップ 4** 新しい電源を取り付けるには、電源モジュールのハンドルを上ポジションにします。
- ステップ 5** 電源モジュールを両手で持ち、電源モジュール ベイに差し込みます。
- ステップ 6** 完全に装着されるまで電源モジュールをシャーシにゆっくりと押し込み、ハンドルを倒します。
- ステップ 7** 右側の非脱落型ネジを締めます。
- ステップ 8** 電源モジュールのLEDをチェックして、電源モジュールが正常に作動していることを確認します。詳細については、[電源モジュール](#)を参照してください。

# DC 電源モジュールの接続



(注) 電源モジュールはただちに交換してください。電源がない状態にしておくことはできません。

この手順では、DC 電源モジュールをシャーシの背面 PDU 端子に取り付けて接続する方法について説明します。

## 安全上の警告

次の電源およびコンポーネントの取り外しに関する安全上の警告に注意してください。



### 警告 ステートメント 1003 - DC 電源の切断

感電や怪我のリスクを軽減するために、コンポーネントの取り外しや交換、またはアップグレードを実行する前に、DC 電源を切断してください。



### 警告 ステートメント 1005—回路ブレーカー

この製品は、設置する建物にショート（過電流）保護機構が備わっていることを前提に設計されています。感電または火災のリスクを軽減するため、保護対象の装置は次の定格を超えないようにします。

AC : 20A

DC : 40A



### 警告 ステートメント 1017 : 立ち入り制限区域

この装置は、出入りが制限された場所に設置されることを想定しています。熟練者、教育を受けた担当者、または資格保持者のみが立ち入り制限区域に入ることができます。



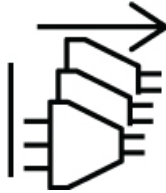
### 警告 ステートメント 1022 - デバイスの切断

感電または火災のリスクを軽減するため、容易にアクセス可能な切断装置を固定配線に組み込む必要があります。



**警告** ステートメント 1028—複数の電源

この装置には複数の電源装置接続が存在する場合があります。感電の危険を減らすために、すべての接続を取り外してユニットの電源を切ります。



**警告** ステートメント 1029 : ブランクの前面プレートおよびカバー パネル

ブランクの前面プレートおよびカバーパネルには、3つの重要な機能があります。感電および火災のリスクを軽減すること、他の装置への電磁波干渉（EMI）の影響を防ぐこと、およびシャーシ内の冷気の流れを適切な状態に保つことです。システムは、必ずすべてのカード、前面プレート、前面カバー、および背面カバーを正しく取り付けられた状態で運用してください。



**警告** ステートメント 1073 - ユーザが保守可能な部品なし

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。



**警告** ステートメント 1046 - 装置の設置または交換

感電のリスクを軽減するため、装置を設置または交換するときには、必ずアースを最初に接続し、最後に取り外します。

装置にモジュールがある場合は、提供されたネジで固定してください



**警告** ステートメント 1089 - 教育を受けた担当者および熟練者の定義

教育を受けた担当者とは、熟練者から教育やトレーニングを受け、機器を操作する際に必要な予防措置を講じられる人です。

熟練者または資格保持者とは、機器の技術に関するトレーニングを受けているか経験があり、機器を操作する際に潜む危険を理解している人です。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。





**警告** ステートメント 1090 - 熟練者による設置

この機器の設置、交換、または修理は、熟練者のみが実施できます。熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。



**警告** ステートメント 1091 - 教育を受けた担当者による設置

この機器の設置、交換、または修理は、教育を受けた担当者または熟練者のみが実施できます。教育を受けた担当者または熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

**始める前に**

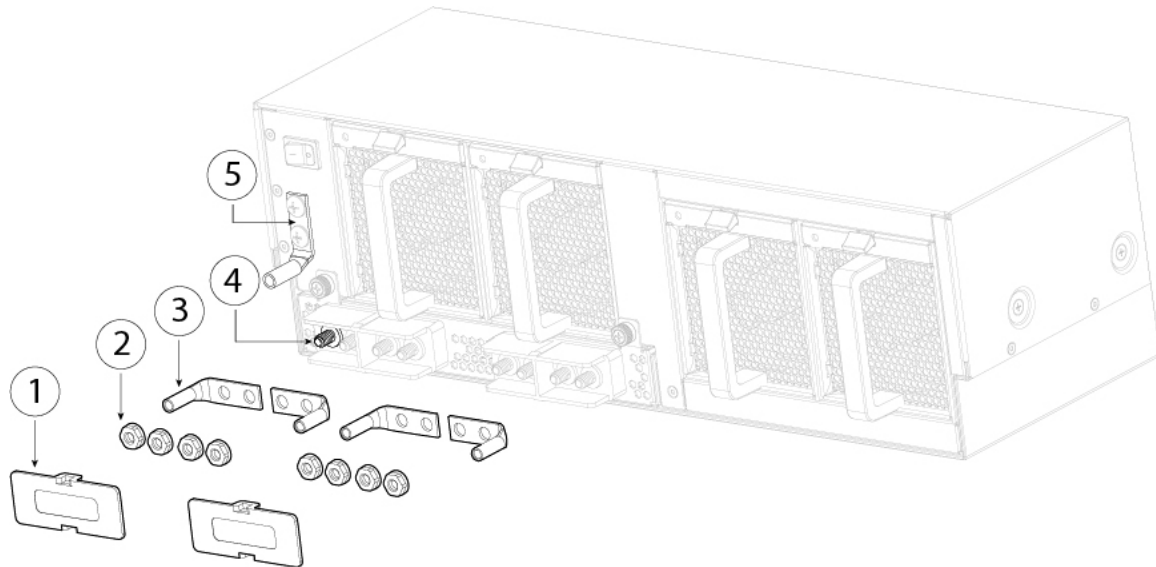
DC 電源モジュールを接続するには次が必要です。

- プラス ドライバ
- 10 mm のレンチまたはソケット
- DC 回路用のコネクタおよび配線
- 2 個の 2 穴ラグ

これらのラグは、アクセサリ キットでは提供されていません。90 度 DC Burndy YAZ6C2TC1490 ラグのようなラグを推奨します。これは ¼ ~ 20 のネジ穴スタッドに対応し、スタッド距離が適切です。

- 
- ステップ 1** DC 電源モジュールをシャーシに取り付け、ベイ番号を書き留め、シャーシの背面の DC 電源モジュールの正しい端子に配線を接続できるようにします。手順については、[電源モジュールの取り外しと交換 \(18 ページ\)](#) を参照してください。
- ステップ 2** 取り付ける電源モジュールの DC 回路への電源がオフになっていることを確認します。
- ステップ 3** 設置場所の電源およびアースのすべての要件が満たされていることを確認します。
- ステップ 4** カバーの上部と下部にあるフランジを圧迫して、DC 端子からプラスチック カバーを取り外します。
- ステップ 5** ネジを使用して、シャーシの接地端子に緑色のアース線を接続します。  
最大 2 つの DC 接続を使用できますが、必要なアース接続は 1 つだけです。
- ステップ 6** ネジを使用して、電源モジュールの端子ブロックに 2 個の 2 穴ラグを接続します。

図 10: DC 電源コネクタとアース ラグの接続



|   |                               |   |       |
|---|-------------------------------|---|-------|
| 1 | DC 端子カバー                      | 2 | ナット   |
| 3 | 2 個の 2 穴ラグ（アクセサリ キットで提供されません） | 4 | DC 端子 |
| 5 | シャーシのアース ラグ                   |   |       |

**ステップ 7** 電源入力モジュールの端子ブロックに DC 入力線を接続します。正しい配線順序は、プラスからプラス（赤の線）、およびマイナスからマイナス（黒の線）です。

**ステップ 8** 上の図に示すように、端子カバーを元に戻します。  
端子に電力を印可する際には、このカバーが必ず取り付けられている必要があります。

**ステップ 9** 回線の DC 切断スイッチを ON に設定します。

**注意** 複数の電源装置が搭載されているシステムでは、各電源装置をそれぞれ別の DC 電源に接続してください。電源障害が発生した場合に、2 番目の電源がまだ使用可能な場合は、システム動作を維持できます。

**ステップ 10** シャーシの前面の電源 LED で、電源の動作状況を確認します。

LED の値については、[電源モジュール](#)を参照してください。

# HVDC 電源モジュールの接続



(注) 電源モジュールはただちに交換してください。電源がない状態にしておくことはできません。

この手順では、高電圧（HV）DC 電源モジュールをシャーシの背面電源給電に取り付けて接続する方法について説明します。両方の電源モジュールを接続して同時に動作させると、負荷が共有されます。HVDC 電源モジュールは、ホットスワップ可能です。

## 安全上の警告

次の電源およびコンポーネントの取り外しに関する安全上の警告に注意してください。



### 警告 ステートメント 1003 - DC 電源の切断

感電や怪我のリスクを軽減するために、コンポーネントの取り外しや交換、またはアップグレードを実行する前に、DC 電源を切断してください。



### 警告 ステートメント 1005—回路ブレーカー

この製品は、設置する建物にショート（過電流）保護機構が備わっていることを前提に設計されています。感電または火災のリスクを軽減するため、保護対象の装置は次の定格を超えないようにします。

AC : 20A

DC : 40A



### 警告 ステートメント 1017 : 立ち入り制限区域

この装置は、出入りが制限された場所に設置されることを想定しています。熟練者、教育を受けた担当者、または資格保持者のみが立ち入り制限区域に入ることができます。



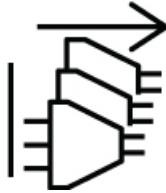
### 警告 ステートメント 1022 - デバイスの切断

感電または火災のリスクを軽減するため、容易にアクセス可能な切断装置を固定配線に組み込む必要があります。



**警告** ステートメント 1028—複数の電源

この装置には複数の電源装置接続が存在する場合があります。感電の危険を減らすために、すべての接続を取り外してユニットの電源を切ります。



**警告** ステートメント 1029 : ブランクの前面プレートおよびカバー パネル

ブランクの前面プレートおよびカバーパネルには、3つの重要な機能があります。感電および火災のリスクを軽減すること、他の装置への電磁波干渉（EMI）の影響を防ぐこと、およびシャーシ内の冷気の流れを適切な状態に保つことです。システムは、必ずすべてのカード、前面プレート、前面カバー、および背面カバーを正しく取り付けられた状態で運用してください。



**警告** ステートメント 1073 - ユーザが保守可能な部品なし

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。



**警告** ステートメント 1046 - 装置の設置または交換

感電のリスクを軽減するため、装置を設置または交換するときには、必ずアースを最初に接続し、最後に取り外します。

装置にモジュールがある場合は、提供されたネジで固定してください



**警告** ステートメント 1089 - 教育を受けた担当者および熟練者の定義

教育を受けた担当者とは、熟練者から教育やトレーニングを受け、機器を操作する際に必要な予防措置を講じられる人です。

熟練者または資格保持者とは、機器の技術に関するトレーニングを受けているか経験があり、機器を操作する際に潜む危険を理解している人です。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。



**警告**    **ステートメント 1090 - 熟練者による設置**

この機器の設置、交換、または修理は、熟練者のみが実施できます。熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。



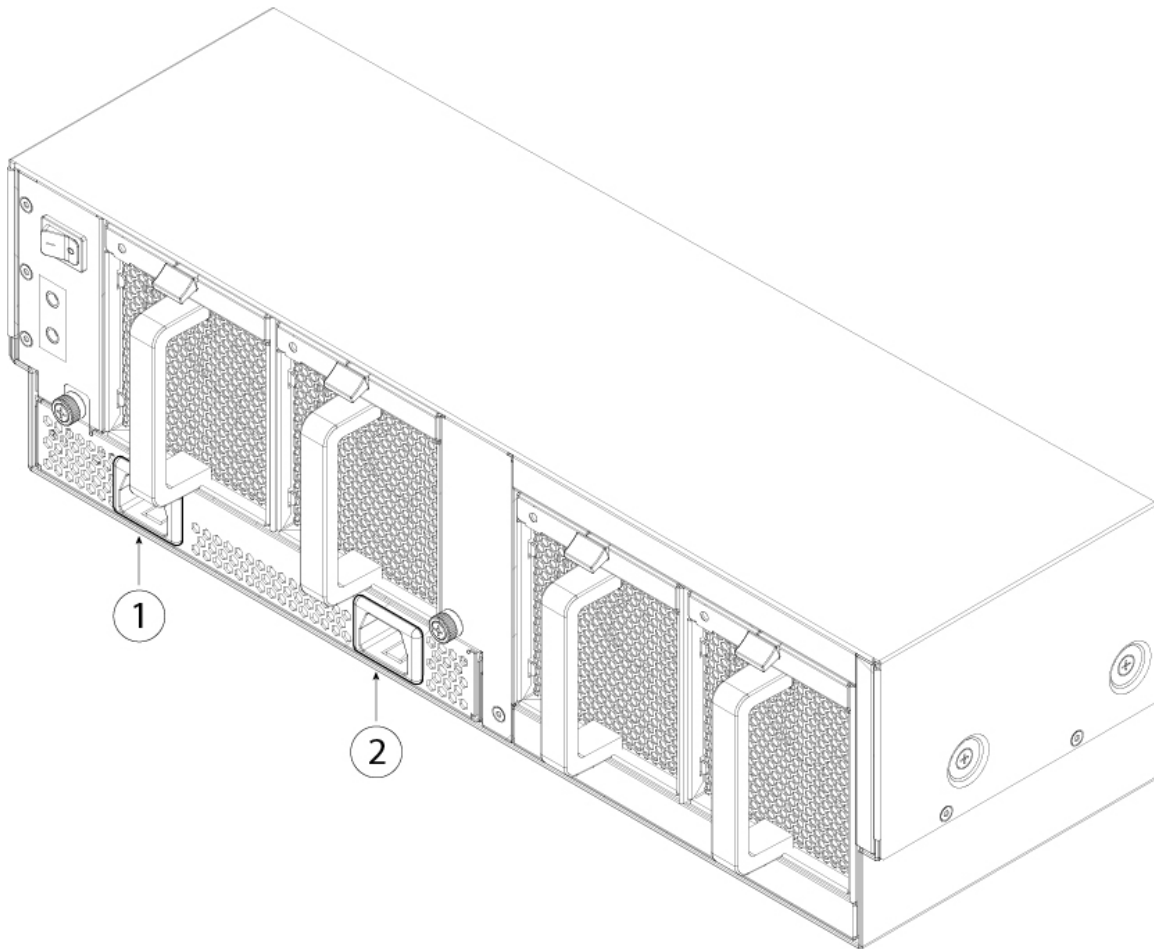
**警告**    **ステートメント 1091 - 教育を受けた担当者による設置**

この機器の設置、交換、または修理は、教育を受けた担当者または熟練者のみが実施できます。教育を受けた担当者または熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

- 
- ステップ 1** HVDC 電源モジュールをシャーシに取り付け、ベイ番号を書き留め、シャーシの背面の HVDC 電源モジュールの正しい給電に HVDC 電源コードを接続できるようにします。手順については、[電源モジュールの取り外しと交換（18 ページ）](#)を参照してください。
- ステップ 2** 取り付ける電源モジュールの DC 回路への電源がオフになっていることを確認します。
- ステップ 3** 設置場所の電源およびアースのすべての要件が満たされていることを確認します。
- ステップ 4** HVDC の電源コードを、PSU-1 および/または PSU-2 の給電に接続します。

図 11: HVDC 給電



|   |           |   |           |
|---|-----------|---|-----------|
| 1 | PSU-2 の給電 | 2 | PSU-1 の給電 |
|---|-----------|---|-----------|

**ステップ 5** 回線の HVDC 切断スイッチを ON に設定します。

**注意** 複数の電源装置が搭載されているシステムでは、各電源装置をそれぞれ別の HVDC 電源に接続してください。電源障害が発生した場合に、2 番目の電源がまだ使用可能な場合は、システム動作を維持できます。

**ステップ 6** シャーシの前面の電源 LED で、電源の動作状況を確認します。

LED の値については、[電源モジュール](#)を参照してください。

# ファン モジュールの取り外しと交換

システムの稼働中にファンモジュールを取り外して交換できます。エアフローは前面から背面に向かいます。ファン モジュールの詳細については、[ファン モジュール](#)を参照してください。



- (注) シャーシは、すべてのファンモジュールが装着され、それらが同時に動作していることを前提に設計されています。ファン モジュール ベイが空になる時間は、新しいファン モジュールを交換するのに必要な時間だけにとどめておいてください。

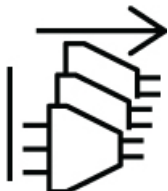
## 安全上の警告

次のコンポーネント交換に関する安全上の警告に注意してください。



### 警告 ステートメント 1028—複数の電源

この装置には複数の電源装置接続が存在する場合があります。感電の危険を減らすために、すべての接続を取り外してユニットの電源を切ります。



### 警告 ステートメント 1073 - ユーザが保守可能な部品なし

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。



### 警告 ステートメント 1089 - 教育を受けた担当者および熟練者の定義

教育を受けた担当者とは、熟練者から教育やトレーニングを受け、機器を操作する際に必要な予防措置を講じられる人です。

熟練者または資格保持者とは、機器の技術に関するトレーニングを受けているか経験があり、機器を操作する際に潜む危険を理解している人です。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。



**警告** ステートメント 1090 - 熟練者による設置

この機器の設置、交換、または修理は、熟練者のみが実施できます。熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。



**警告** ステートメント 1091 - 教育を受けた担当者による設置

この機器の設置、交換、または修理は、教育を受けた担当者または熟練者のみが実施できます。教育を受けた担当者または熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

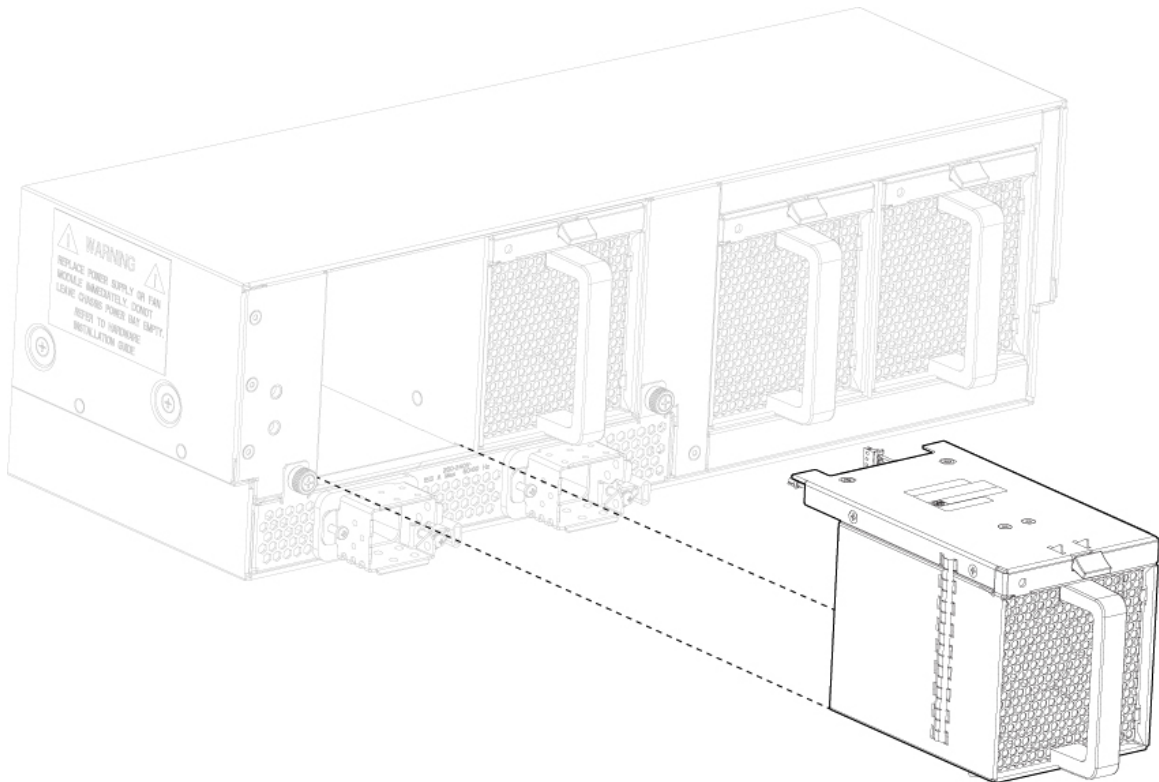
内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

**ステップ 1** ファン モジュールを取り外すには、シャーシの背面側で、ファン モジュールのハンドルを握ります。

**ステップ 2** ファン モジュールの上部にあるバネ式ラッチを下に押します。

**ステップ 3** ファン モジュールをシャーシから引き抜きます。

図 12: ファン モジュールの取り外しと交換





- ステップ 4** 新しいファン モジュールを取り付けるには、バネ式ラッチが上になるようにファン モジュールを持ちます。
- ステップ 5** ファンモジュールをシャーシに差し込み、モジュールが適切に装着されてバネ式ラッチがかかるまで押し込みます。  
システムの電源がオンになったら、ファンの動作音を確認します。ただちに、ファンの動作音が聞こえます。動作音が聞こえない場合には、ファン モジュールがシャーシ内に完全に装着され、前面プレートがシャーシの外面と揃っていることを確認してください。
- ステップ 6** ファン モジュールの LED をチェックして、ファンが動作していることを確認します。ファン LED が更新されるまで約 1 分かかります。ファン モジュール LED の説明については、[ファン モジュール](#)を参照してください。

## FIPS 不透明シールドの取り付け



**注意** この手順は Crypto Officer のみが実行する必要があります。FIPS 不透明シールドを受け取った時点で Firepower 9300 がすでに稼働している場合は、Crypto Officer が電源をオフにし、ケーブルを取り外し、FIPS 不透明シールドを取り付け、改ざん防止用ラベル (TEL) を貼り付け、ケーブルを再接続して Firepower 9300 の電源をオンにする必要があります。Crypto Officer の職務の詳細については、『[FIPS 140-2 Non Proprietary Security Policy Level 2 Validation](#)』[英語] ドキュメントを参照してください。

この手順では、すでにラックに取り付けられている Firepower 9300 の前面に FIPS 不透明シールドを取り付ける方法について説明します。FIPS 不透明シールドには、2 本の非脱落型ネジで取り付け済みのアクセス カバーがあります。FIPS 不透明シールドによって、シリアル番号を含む前面パネルの引き出しアセットカードを覆われますが、シャーシの側面に別の引き出しアセットカードがあり、シリアル番号もスーパーバイザの上部に印刷されています。シャーシのシリアル番号の位置については、[シリアル番号の場所](#)を参照してください。このシリアル番号は、Cisco TAC に問い合わせる際に必要になります。

### 始める前に

FIPS 不透明シールドを取り付けるには以下が必要です。

- プラス ドライバ
- シャーシがラックに取り付け済みである
- すべてのケーブルがシャーシの前面から取り外されている
- FIPS キット
  - 4 本の 10-32 X 0.75 インチネジ
  - FIPS 不透明シールド

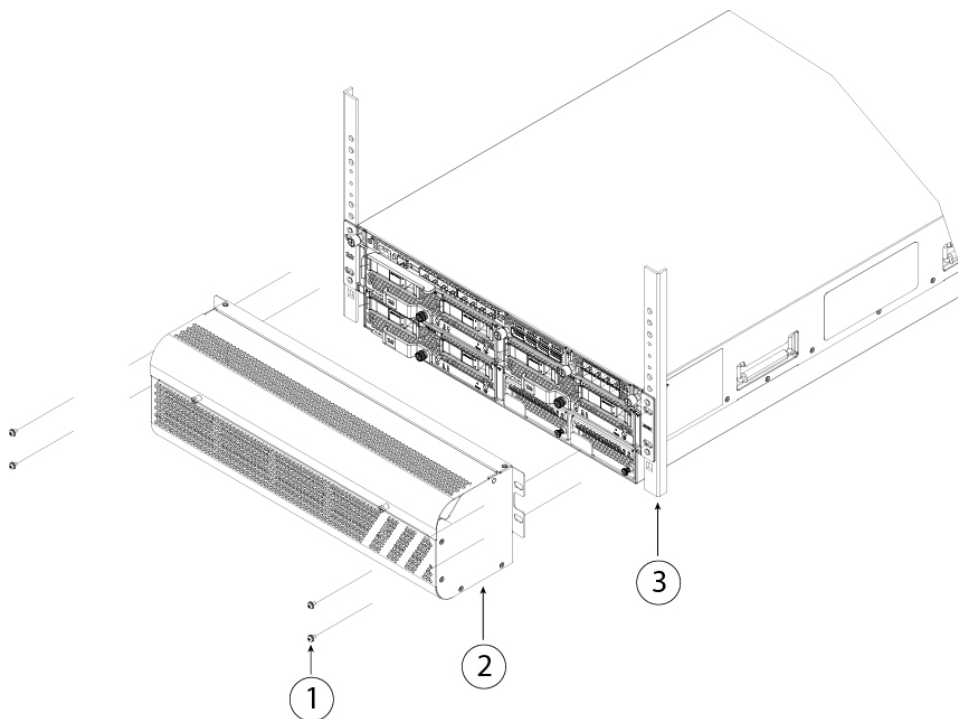
- 12 枚の改ざん防止用ラベル

**ステップ 1** シャーシブラケットの両側から 2 本のネジを外します。

シャーシはその重量を支えるレール上にあるため、ネジを外しても落下することはありません。

**ステップ 2** FIPS キットの 4 本の 10-32 X 0.75 インチ ネジを使用して、FIPS 不透明度シールドを左右のシャーシブラケットにそれぞれ 2 箇所ずつ取り付けます。

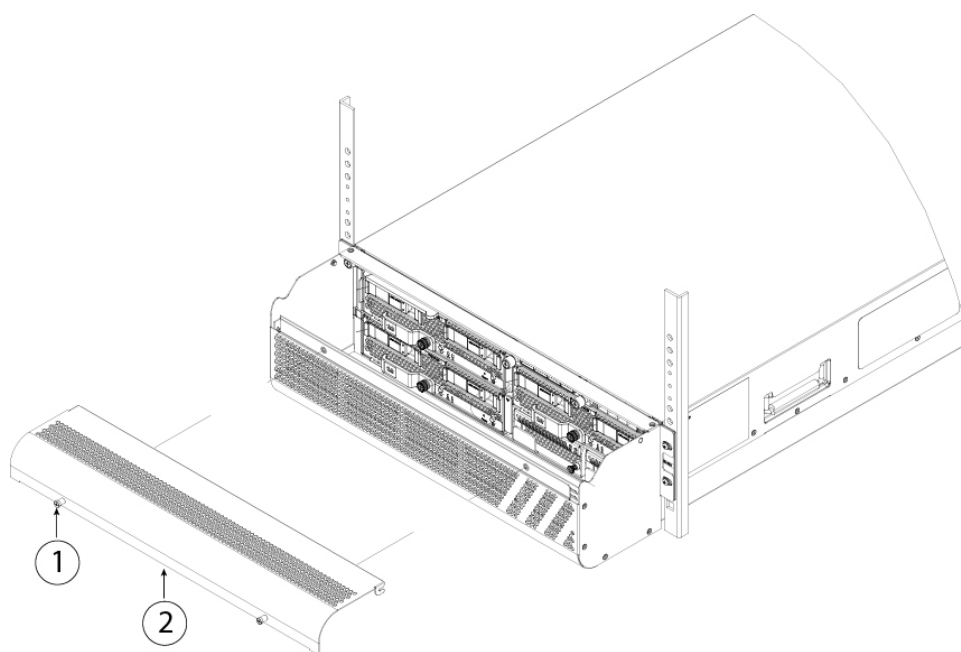
図 13: ラックマウント レールへの FIPS 不透明シールドの取り付け



|   |             |   |              |
|---|-------------|---|--------------|
| 1 | ネジ          | 2 | FIPS 不透明シールド |
| 3 | ラックマウント レール |   |              |

**ステップ 3** アクセス カバーの前面にある 2 本の非脱落型ネジを緩めてアクセス カバーを取り外し、ケーブルをポートに接続できるようにします。

図 14: FIPS アクセス カバーの取り外し

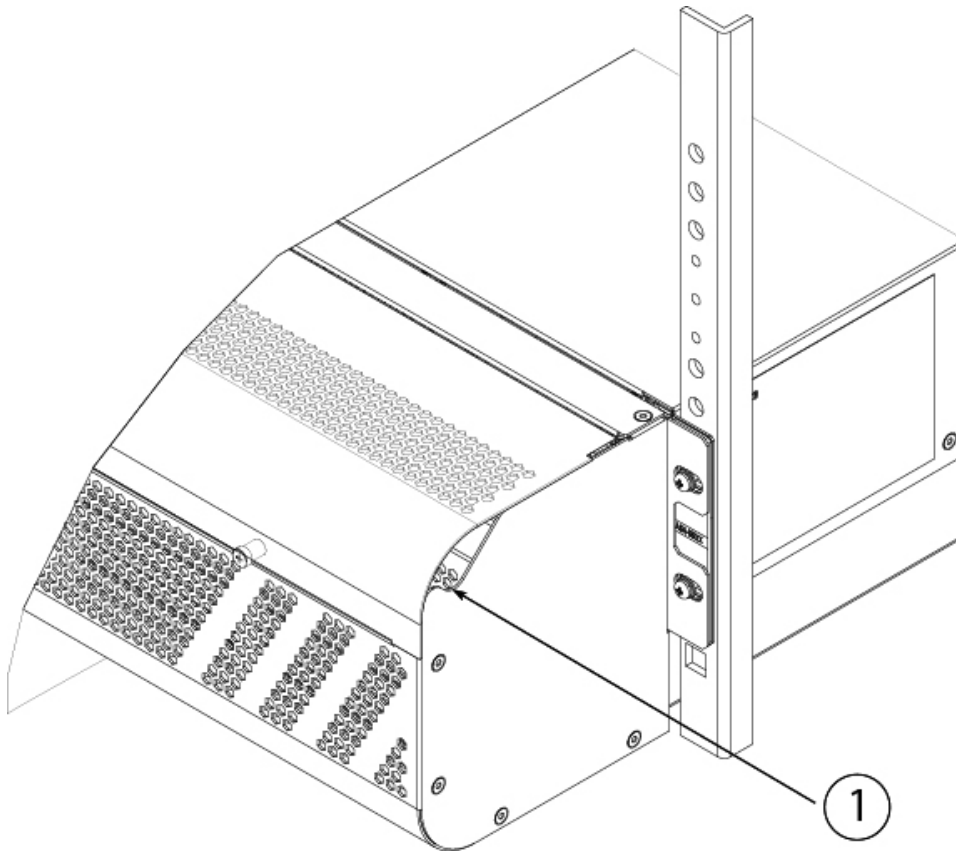


|   |        |   |          |
|---|--------|---|----------|
| 1 | 非脱落型ネジ | 2 | アクセス カバー |
|---|--------|---|----------|

**ステップ 4** ケーブルをポートに接続します。手順については、ステップ 9 に記載されているスタートアップガイドを参照してください。

**ステップ 5** ケーブルを FIPS 不透明シールドの両側にある開口部に通し、非脱落型ネジを締めて FIPS アクセス カバーを再度取り付けます。

図 15: FIPS 不透明シールドにケーブルを通す



|   |        |  |
|---|--------|--|
| 1 | ケーブル出口 |  |
|---|--------|--|

**ステップ 6** TEL を貼り付けます。TEL の手順と正しい位置については、『[FIPS 140-2 Non Proprietary Security Policy Level 2 Validation](#)』[英語] ドキュメントの「Tamper Evidence Label (TEL) Placement」セクションを参照してください。

**ステップ 7** 電源コードをシャーシに接続し、もう一方の端を電源に差し込みます。シャーシの背面に電源スイッチがあります。そのスイッチをオンに切り替えます。

(注) 初期の AC 電源シャーシには電源スイッチがありません。電源コードを電源に差し込むとシャーシに電源が入ります。

(注) 電源スイッチをオンからオフに切り替えると、システムの電源が切れるまで数秒かかります。電源 LED がオフになるまで電源ケーブルを抜かないでください。電源スイッチをオフに動かすか電源コードを取り外してシャーシへの電力供給を遮断した後は、少なくとも 10 秒間待機してから電源を再投入してください。

**ステップ 8** シャーシの前面の SYS LED を確認します。SYS LED については、[スーパーバイザ](#)を参照してください。

SYS LED が緑色で点灯する場合は、シャーシが正常に起動しています。

**ステップ 9** 設定の詳細については、『[Cisco Firepower 9300 Getting Started Guide](#)』[英語] を参照してください。

---



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。